



西浮通信

令和 7 年 9 月 1 日

NO. 416

東京都北区立西浮間小学校

校長 小島 みつる

語彙力を高めよう

校長 小島 みつる



猛暑続きの夏休みが終わり、9月の学校生活が始まりました。元気に登校してきた子供たちは、夏の思い出を心と体にいっぱい詰めて、一回り大きく逞しくなったように感じます。夏休み明けの今、規則正しい生活リズムを取り戻すことが大切です。一番良い方法は、「朝起きる時間をいつも同じにすること。」だそうです。まずは、早起きを！

さて、夏休み期間に、年度当初に実施した北区基礎基本定着度調査（学力テスト）の分析を中心に、本校の授業改善推進プランを作成しました。（内容はホームページでご確認ください。）その中で全学年の共通課題となっているのが「**語彙力**」「**読解力**」です。「語彙」とは、「語句（言葉）の集まり」という意味で、「語彙力がある」とは、たくさんの語句（言葉）を知っている、一つの意味でいろいろな語句（言葉）を知っている、自分の表現したいことを的確に表現できる語句（言葉）を知っている、ということです。この語彙力に課題があれば、書かれた内容を読み取る力（読解力）も当然弱くなります。言葉は「伝えるツール」だけでなく「考えるツール」としても活用しています。国語だけでなく、算数でも理科でも社会でも、何かを考えるときには「言葉」の力が必要です。日本語の語彙が豊かでないと、外国語を学ぶにも理解が深められません。勉強だけでなく、野球やサッカーの作戦を練るときも、感情を込めて歌おうとするときも、言葉、つまり豊かな語彙が必要なのです。「語彙力が弱い」ということは自己表現力も弱く、また、相手の思いを推し量る力も弱くなります。

語彙の少なさはコミュニケーションにも大きく影響します。ある低学年のクラスの算数の時間、問題を早く解けた子供から先生の所にもってきて丸をつけてもらう、という学習活動をしていました。算数が得意で何としても1番になりたかったA君も一生懸命頑張っていました。でも、ちょっとした差でBさんが1番に先生の所に来ました。それに気づいたA君、大きな声でBさんに「シネ！」と叫びました。

担任のC先生…「A！なんてことを言うんですか？！こんなことをいう子には丸なんかつけられません！」

担任のD先生…「A君も頑張ったね。だから1番になれなくて悔しかったんだね。そんなときは『シネ』じゃなくて『悔しい！』って言えばいいんだよ。Bさんに謝って、もう一度『くやしい！』って叫んでごらん」A君「くやしいっ！！」D先生「そうか、そうか。1番になりたかったんだね。でも2番だってすごいよ。ノートを持っておいで。花丸をつけてあげようね。」

C先生は普通にありがちな対応だと思われる。対してD先生は、A君の語彙には自分の感情を表現する「悔しい」という言葉が無いだけなのかもしれない、ということ気づきました。そこでD先生は正しい言葉とその使い方を教え、マイナスの感情でも叱られないという経験をA君にさせたのです。これは一例ですが、語彙の少なさから自分の感情を表現する言葉を知らない子供を見かけることが、多々あります。ご家庭でも、子供を叱るときに「ウゼェ！」「ウルサイ！」「シネ！」などという言葉は絶対につかわずに、丁寧に「お父さんお母さんの気持ちを言葉で表現して叱ることをされているでしょうか。また、ご家庭で単語のみ（それもごく限られた）での会話が主になっていないでしょうか？例えば「おなかのすいたな、今夜のご飯はなあに？」（これもちゃんとした文型ではありませんが…）と話すべきところを「夜、何？」になっていませんか？さらに、子供が言いたいことを言い切らないうちに（または、まったく言えてないうちに）おうちの人が先回りして代弁してしまい、子供の言葉を使う場面を奪っていないでしょうか？

考えることやコミュニケーションの大元である「言葉」。言葉はつかいながら学ぶのが一番、つまり日常生活が学びの場なのです。学校でも、考えたことや思ったことを言葉として表現し、伝え合う活動を重視した授業改善に取り組んでまいります。子供たちの豊かな語彙力向上に向けて、家庭、学校の両輪で取り組んでまいりましょう。



チーム西浮669みんな楽しく素晴らしい1日を！！

代表委員会

7月5日（土）、児童会行事である「西浮フェスティバル」が開催され、西浮間小学校は子供たちの笑顔であふれていました。「西浮フェスティバル」は、児童会が企画・運営を行う、毎年子供たちが楽しみにしている行事のひとつです。また、楽しいだけではなく特別活動で育むたくさんの力を高めることができる取り組みです。

各学級では、「西浮フェスティバル」に向けて、スローガンや学級目標を意識しながら自分たちの学級のお店の内容を学級会で話し合っ決めて決めます。話し合うことは内容だけでなく、お店の名前や役割、お客さんに楽しんでもらうための工夫など様々です。そして、友達と協力し創意工夫しながら準備を進めていきます。時には意見のぶつかり合いも見られますが、折り合いをつけながらよりよいものにしていこうと準備を進めていく姿はとても頼もしいです。

学級とは別に、代表委員会でも「西浮フェスティバル」を盛り上げるためにできることを話し合います。代表委員会とは、5、6年生の計画委員と各委員会の委員長、そして4年生の学級代表で構成されています。スローガンは、全校が「西浮フェスティバル」成功に向けて心を一つにして目指すために大切なものであり、各学級から出された案をもとに代表委員会で決定します。また、「西浮フェスティバル」を盛り上げるためにできることを提案し、その中でそれぞれの委員会で担当できることの確認や、代表委員会として取り組むことを決めて実行します。今年度は、「西ルンをさがせ、キーワード集め」を行いました。この企画には、1階から4階の様々な所にポイントを設置し、色々な学年のお店に行ってもらおうというねらいがありました。

「西浮フェスティバル」当日には、自分の役割を責任をもって果たす姿や、他学年との交流の中で思いやりあふれる姿がたくさん見られました。閉会式では、西浮間小学校恒例の「学園天国」を全校で踊って大盛り上がりで「西浮フェスティバル」を終了しました。「西浮フェスティバル」を通して子供たちが高めた力をこれからの生活や行事に生かして、子供たちや学級、学校の成長につなげていきます。

夏休み作品展について

夏休みの作品展を以下の日程で公開いたします。

9/8（月）～9/20（土） 15：30～16：30

※9/20（土）は道徳授業地区公開講座の道徳の時間のみとなります。ぜひ、この機会に子供たちの作品をご覧ください。

9月 行事予定

日	曜	時	朝	行 事	SC
1	月	B	朝会	4時間授業 安全指導	
2	火		英読	委員会活動 計測（4年）	都
3	水	B	英学	社会科見学（5年）	
4	木		朝会	プール納め アンガーマネジメント授業（5年）	
5	金		ハシック	計測（6年）	区
6	土				
7	日				
8	月	B	朝会	脊柱側弯検診（5年） 岩井移動教室事前検診（4年） 夏休み作品展始	
9	火		英読	岩井移動教室（4年） 計測（2年）出前授業（5年） クラブ活動	都
10	水	B	英学	岩井移動教室（4年） 計測（5年）	
11	木		集会	計測（3年）	
12	金	B	ハシック	計測（1年） 避難訓練 校内研究授業	区
13	土				
14	日				
15	月			敬老の日	
16	火		放送	代表委員会 フレンド班会議	都
17	水	B	英学	出前授業（4年）	
18	木		集会	委員会発表 フレンド班あそび	
19	金		英学		区
20	土			土曜授業参観 道徳地区公開講座 個人面談①午前授業 夏休み作品展終	
21	日				
22	月			振替休日	
23	火			秋分の日	
24	水	B	英学		
25	木		体育	ナガトラ① 個人面談②4時間授業	
26	金		英学	町たんけん（2年） 個人面談③4時間授業	区
27	土			PM 町内防災訓練荷物搬入	
28	日			町会防災訓練	
29	月	B	朝会	QU2 回目実施始	
30	火		英読	委員会活動	都

今月の生活目標 「きまりよい生活をしよう」

学校に元気な子供たちの声が戻ってきました。生活のリズムの基本は「早寝・早起き・朝ご飯」の3つです。夏休みの生活リズムから、普段の生活リズムに戻すとともに、「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を心がけていきましょう。

6年生

日光高原学園

**待ちに待った日光高原学園！！
3日間最高の思い出にするぞー！！**



8月8日(金)～8月10日(日)で日光に行ってきました。「6年間の集大成 自ら判断して行動し 120人一致団結」というスローガンを掲げて過ごした3日間。実現させようと、一人一人の言動には成長が見られました。6年生としての意識が高まったことを今後の日常生活や行事に生かし、最高学年としてさらによりよい集団を目指していきたいと思います。ご家庭でも健康観察や荷物の準備のご協力や、子供たちの成長のために様々な配慮をしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



**栃木県の伝統工芸「ふくべ細工」体験！
思い思いに顔を描きます。**



**日光東照宮の見学！
歴史的価値を肌で感じました。**



日光の広大な自然に触れ合いました。





普段は見ることのできない圧巻の景色！

自然いっぱいの中、元気にみんなでハイキング！



男体山をバックに学年みんなで記念撮影！



華嚴の滝の迫力にみんなで感動！

最高に楽しい学年レク。学年全体が一致団結し、みんなの絆が深まったと感じる瞬間でした。



3日間を過ごし、帰校したときのみんなの顔つきは、出発前よりも頼もしくたくましくなっていました。